

狭山が発祥の地

# 童句

聞いているぞと先生の咳払い

三宅  
真美

鈴木  
歎

楓の糸引き合つ天と僕の手と

芝崎  
福三郎

ひな段に部屋をゆづつて母と寝る

村越  
あゆみ

カマキリは生れて直ぐに構えおり

母の日に兄ちやんと割る貯金箱

木下  
一江

寝る前にもう一度見るおひなさま

前田  
朗子



# さやま年会本

16



## 大芦の神の木さま

下奥富の大芦に大樹寺という古い  
お寺がありました。

昔のおはなしです。徳のたかいお  
坊さんが大芦にやつて来て虚空藏さ  
まを安置し、持つていました杖をお  
寺の境内につきさし、いざこともな  
く去つていきました。その杖が不思  
議にも年々育つていき、しっかりと  
根をはり大きなケヤキとなりまし  
た。それが大樹寺の神の木さまとい  
われるようになりました。

そして、神の木さまの高さといつ  
たら、木にのぼりはじめ中腹あたり  
で、もう川越の伊佐沼がゆうに見ら  
れたということです。

この神の木さまの大ケヤキも、大  
樹寺もいまはありません。

十五人、手をのばしてやつとつなが  
るほどでした。また、根っこには大  
きな穴がありまして、なんと大人が  
十人も入れたそうです。それに根つ  
この穴に湯を入れてお祈りして、そ  
の湯を飲みますと万病にきいたそ  
うです。これが評判となり村の人も  
もちろん、近郷近在の人が列をなした  
といいます。

十五人、手をのばしてやつとつなが  
るほどでした。また、根っこには大  
きな穴がありまして、なんと大人が  
十人も入れたそうです。それに根つ  
この穴に湯を入れてお祈りして、そ  
の湯を飲みますと万病にきいたそ  
うです。これが評判となり村の人も  
もちろん、近郷近在の人が列をなした  
といいます。

この広報紙は自然保護のため再生紙を使用しています

お・茶・香・る・ま・ち

# さやま

[狭山市広報]

VOL.492

◆発行日／平成8年7月10日（毎月10・25日発行）

◆編集・発行／狭山市役所企画財政部秘書広報課

〒350-13 埼玉県狭山市入間川11-23-5

TEL.0429-53-1111 (内線386)

FAX.0429-55-9713